



上海国際航運中心を 2025 年までにアップグレード

上海市政府は 7 月 8 日の記者会見で、上海の国際航運センターとしての機能が第 13 次 5 年計画 (2020 年まで) で基本的に形成され、世界の国際輸送資源の配置能力を初歩的に備えたと紹介しました。英国バルチック海運取引所と新華社通信傘下の中国経済信息社が 2020 年 7 月 11 日に発表した「2020 年新華バルチック国際海運センター発展指数」ランキングで上海国際航運センターが世界第 3 位に入り、国際的な影響力が着実に高まっているとして、具体的な現状を紹介しました。

また、2025 年までの第 14 次 5 年計画期の発展目標が紹介されましたので、以下の通り紹介します。

上海国際航運センター建設の第 14 次 5 年計画

発展目標：

2025 年に基本的に、高効率の利便性、機能の完備、開放の融合、緑色スマート、力強い保障を備えた世界一流の国際港運センターを建設する。

分野目標：

全体目標に従って、以下の 11 分野の目標に取り組む。

	類別	指標とする項目 () 内は 2019 年の関連実績	目標値(2025 年)
1	港湾	コンテナ年間取扱量(11 年連続世界 1 位)	4,700 万 TEU 以上
2		コンテナ異水域中継比率(51.6%)	52%を下回らない
3		コンテナ海上鉄道一貫輸送量	65 万 TEU を下回らない
4	空港	年間総旅客数(延べ 1.2 億人)	延べ 1.3 億人以上
5		航空貨物年間取扱量(405.8 万トン)	410 万トン以上
6	クルーズ港	クルーズ旅客年間輸送量ランキング(吳淞口国際クルーズ港がアジア 1、世界 4 位の母港)	アジア太平洋地区第 1 位
7	緑色	港湾専門埠頭の電化率(79%)	100%

8	航運	空港の総合エネルギー消費	22万トン(標準炭換算)
9	航 運	海上保険シェア(ロンドン、シンガポールの次)	世界 TOP3 以内
10	サ ー	航運関連の国際組織	9 機関～10 機関
11	ビス と 環 境	世界銀行ビジネス環境ランキング	港湾物流評価で上位

第 14 次 5 カ年計画期の主要任務：(7 分野)

1. 空間配置を最適化し、航運産業を集積し輻射効果を発揮

対象地区：洋山-臨港地区、外高橋地区、陸家嘴-世博地区、北外滩地区、吳淞口両側区域、浦東空港地区、虹橋地区。

2. 長江デルタを牽引し、さらに高いレベルの一体化発展を推進

- 長江デルタ各港湾の港湾行政、航空行政、CIQ 管理を一体化した世界規模のシステムを早急に構築する。
- 小洋山北側を総合開発し、長江沿岸、沿海の多様なモデルの協力を進め、長江沿線での中継輸送を強化する。
- 大芦線航路の東側延長等の河川と海の直通航路を建設する。
- 臨港に多様な水陸一貫輸送センターと外高橋に港湾専用鉄道線の建設を計画し、内陸コンテナ埠頭のレイアウトと海上鉄道一貫輸送市場を広げる。
- 水上交通の安全リスク管理システムを整備し、現代化総合航海保障システムを構築し、上海国際航運気象保障基地を建設する。

3. 発展に力を合わせて品質でリードする世界レベルの航空ハブを建設

- 浦東空港第 4 期拡張工事の建設と第 5 滑走路の投入を推進する。
- コロナ禍からの航空路線の回復とオンライン化を高め、乗り継ぎ、国際貨物の集散機能を向上し、国際航空速達便処理センターを作る。
- 空域構造と空中航路ネットワークを調整し、長江デルタ一体化空中交通管理保障システムの構築を支持する。

4. サービスをブランド化し、グローバルな航運資源の配置能力を強化

- 臨港、臨空サービスのサプライチェーンを広げ、船舶・航空機器の修理、物資供給・配送、貨物中継、廃棄物接收等の総合サービス能力を向上させる。

- 港湾のビッグデータ・スマート物流サービスを向上させ、航運データ公共プラットフォームを建設する。
- 金融機関による国際運行ルールに則った航運企業への高効率で便利な金融サービスの提供を支持し、国際海上保険業務支援政策システムを構築し、航運派生品サービスの発展を支持する。
- 国際海事司法センターとアジア太平洋海事仲裁センターを建設する。
- 臨港新エリア浦東空港南側区域を高品質で建設し、虹橋臨空経済モデル区の建設を深化させ、航空産業チェーン企業、機構の集積を呼び込む。
- 北外灘国際航運フォーラムを開催し、航運と文化、旅行業の融合を促す。

5. 産業レイアウトを最適化し、高水準のクルーズ経済センターを建設

- 中国クルーズ旅行発展モデル区の建設を加速する。
- 無目的クルージングルートのテストを行い、国際クルーズ船の寄港を誘致する。
- 宝山国際クルーズ産業パーク、外高橋造船基地等のクルーズ関連産業プラットフォームの構築と、クルーズ会社の本部基地、物資供給センター、越境購買センターの建設を支持する。

6. 科学技術の機能を掘り起こして、持続可能な航運センターの発展を促進

- 港湾のスマート化、システム集積、自動化を進め、洋山港スマートカード商業モデルプロジェクトを実施する。
- コンテナの海上河川一貫輸送公共情報プラットフォームの建設を深化させる。ブロックチェーン技術による航運領域での応用シーンと基準の制定を推進する。
- 電気・LNGの供給ステーション等でクリーンエネルギー施設の建設と運用を推し進め、船舶への新エネルギー、新技術の応用を進め、汚染防止を強化する。
- 空港のスマート化発展を促進する。

7. 管理システムを最適化し、全方位で航運のソフトパワーを向上

- 港湾の全プロセスの運営サービスプラットフォームを打ち立てる。
- 国際貿易のワンストップ窓口の建設を深化させる。
- 港湾物流費用の徴収構造を最適化し、徴収費用の公開と簡便な確認を強化する。
- 洋山特殊総合保税区の優勢を十分に発揮し、さらに高い水準の国際貿易の自由化、利便化政策・制度を実施する。
- 対外貿易コンテナの沿海国内運輸等の制度のイノベーションを深化させ、自由貿易試験区

で船舶法定検査の対外開放を進める。

- アジア海事技術協力センター等の国際組織機能を建設し、レベルを向上させ、国際海事技術ルールと基準の制定に積極的に参画する。